

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成30年6月30日

(宛先)
川越市長 様

報告者 住所 埼玉県川越市脇田本町1-3

グランベル川越ビル6階

代表者の氏名 住友林業(株) 住宅・建築事業本部 埼玉西支店

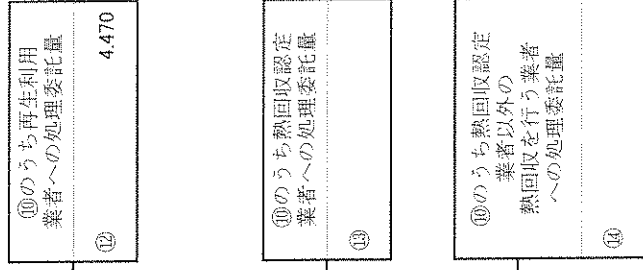
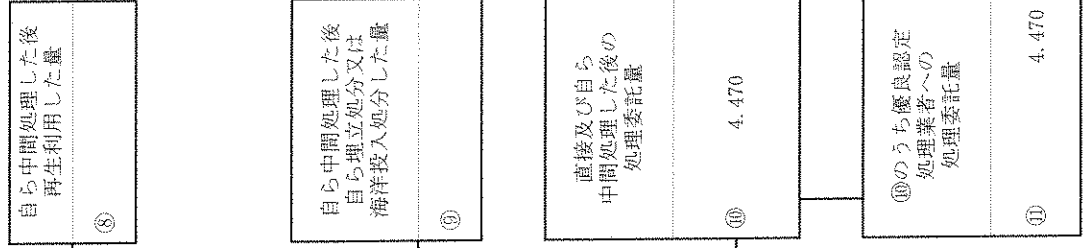
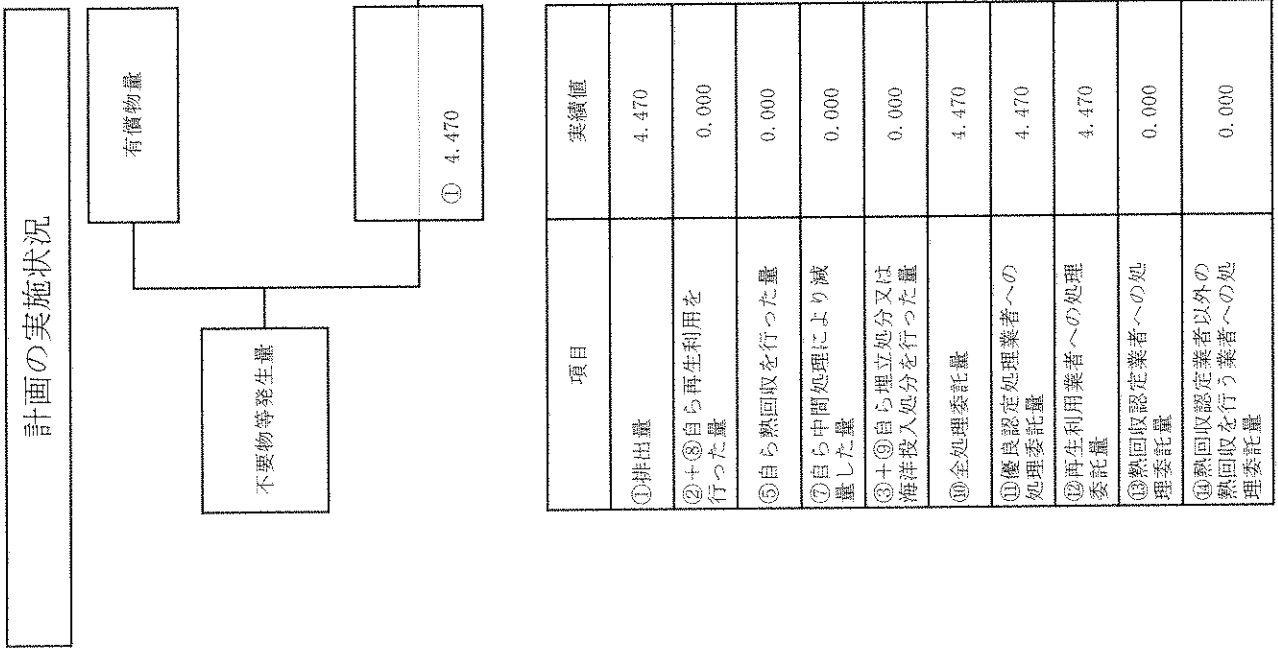
支店長 石原 雅人

電話番号 049-247-1421

埼玉県生活環境保全条例第20条第3項の規定により、平成29年度の産業廃棄物処理計画の実施の状況を報告します。

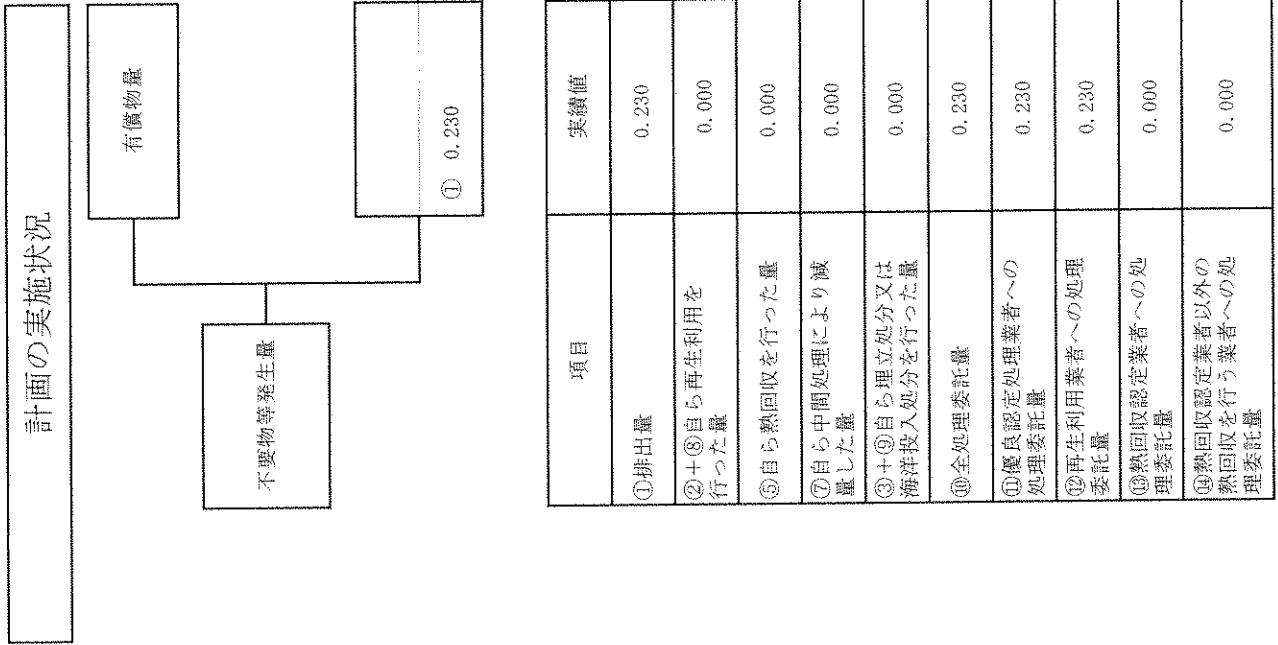
事業場の名称	住友林業(株) 住宅・建築事業本部 埼玉西支店		
事業場の所在地	埼玉県川越市脇田本町1-3 グランベルビル川越ビル6階		
事業の種類	065木造建築工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成29年4月1日から平成30年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	281.55 t	全処理委託量	281.55 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	245.25 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	273.08 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	11.9 t
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)



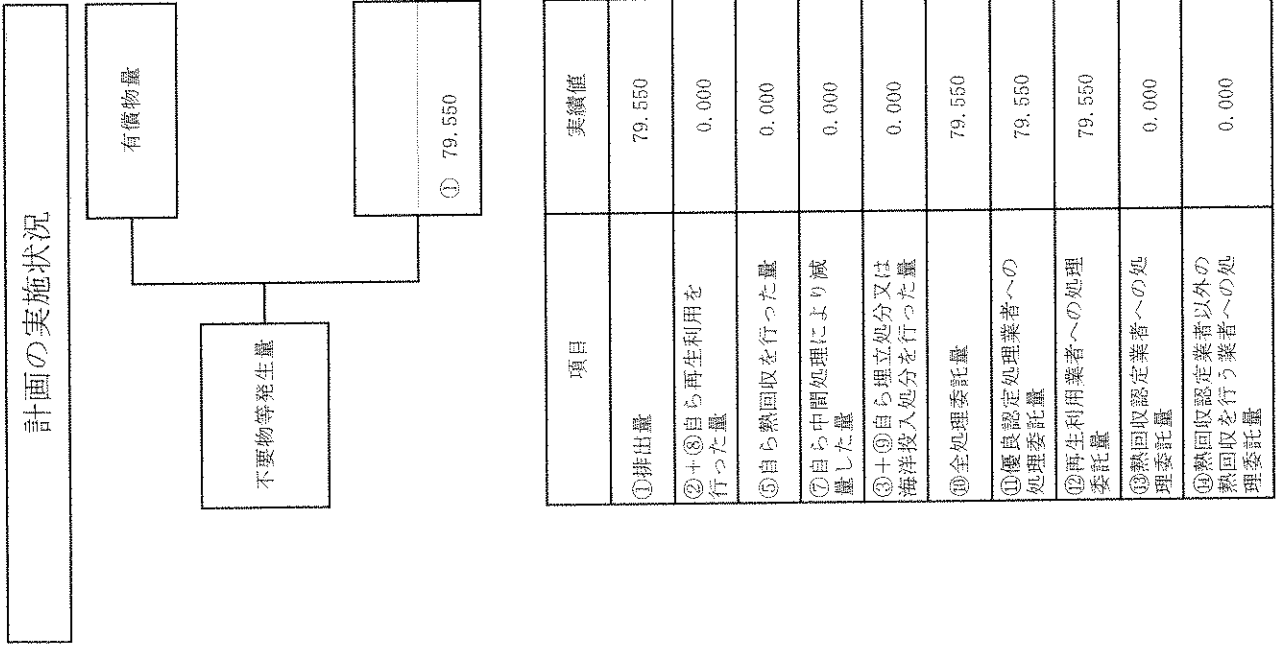
項目	実績値
①排出量	4,470
②+③自ら再生利用を行った量	0,000
⑤自ら熱回収を行った量	0,000
⑦自ら中間処理により減量した量	0,000
⑧+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0,000
⑩全処理委託量	4,470
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4,470
⑫再生利用業者への処理委託量	4,470
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0,000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0,000

(産業廃棄物の種類： 紙くず)

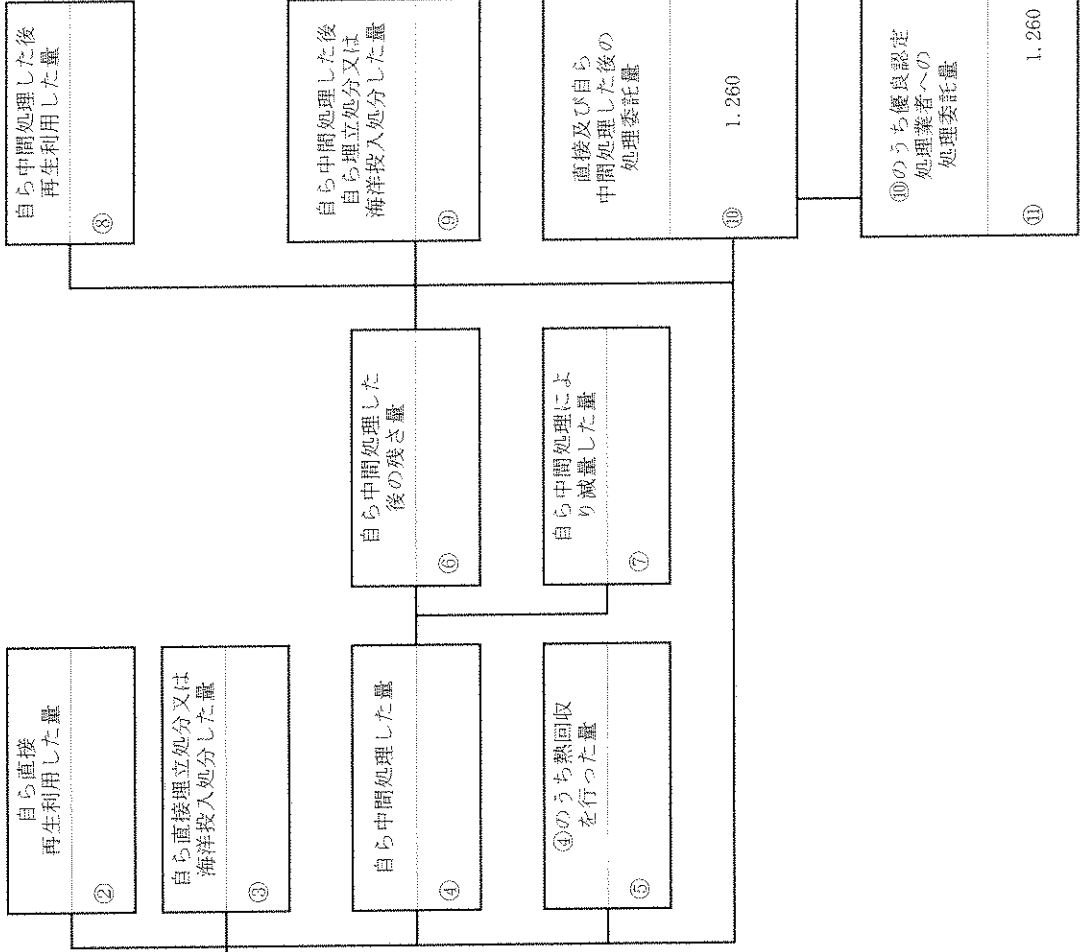
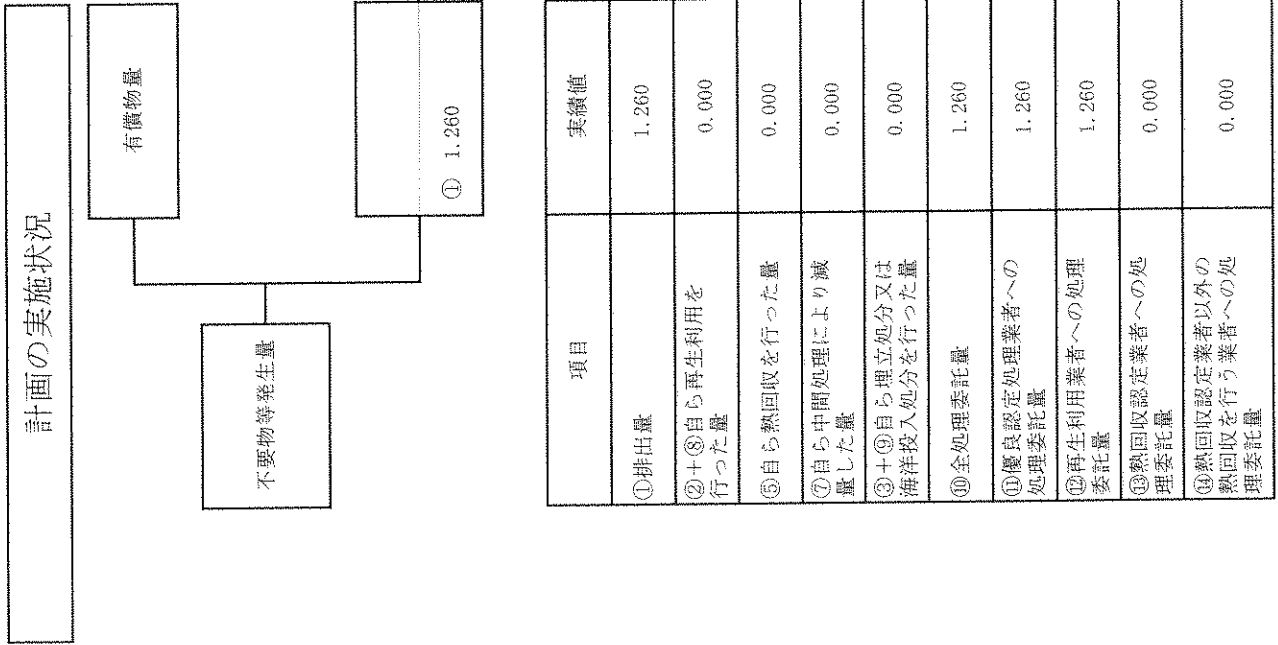


項目	実績値
①排出量	0.230
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
⑧+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.230
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.230
⑫再生利用業者への処理委託量	0.230
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

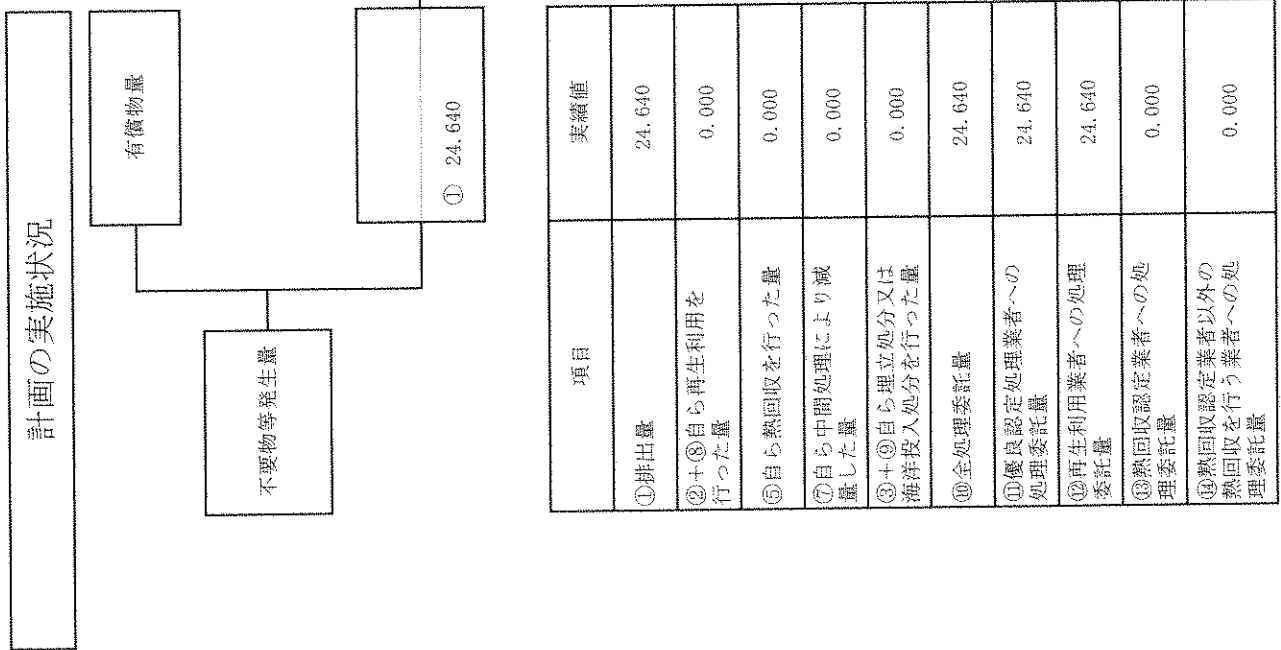
(産業廃棄物の種類： 木屑)



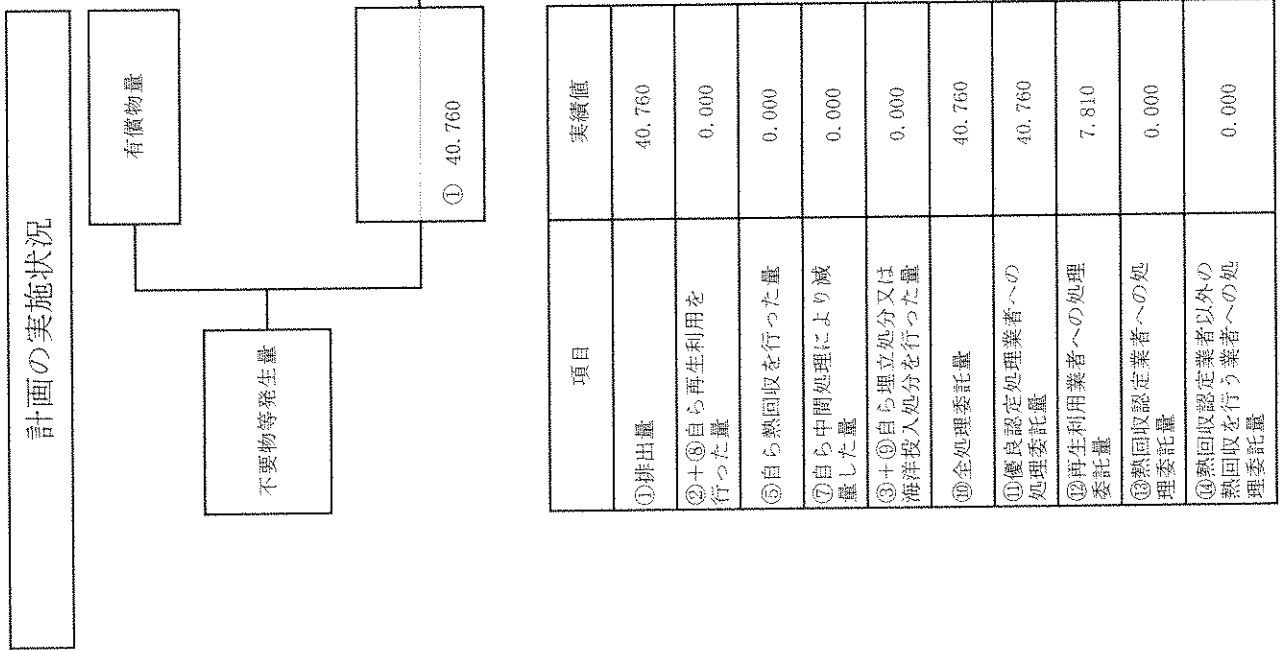
(産業廃棄物の種類： 繊維くず)



(産業廃棄物の種類： 金属くず)

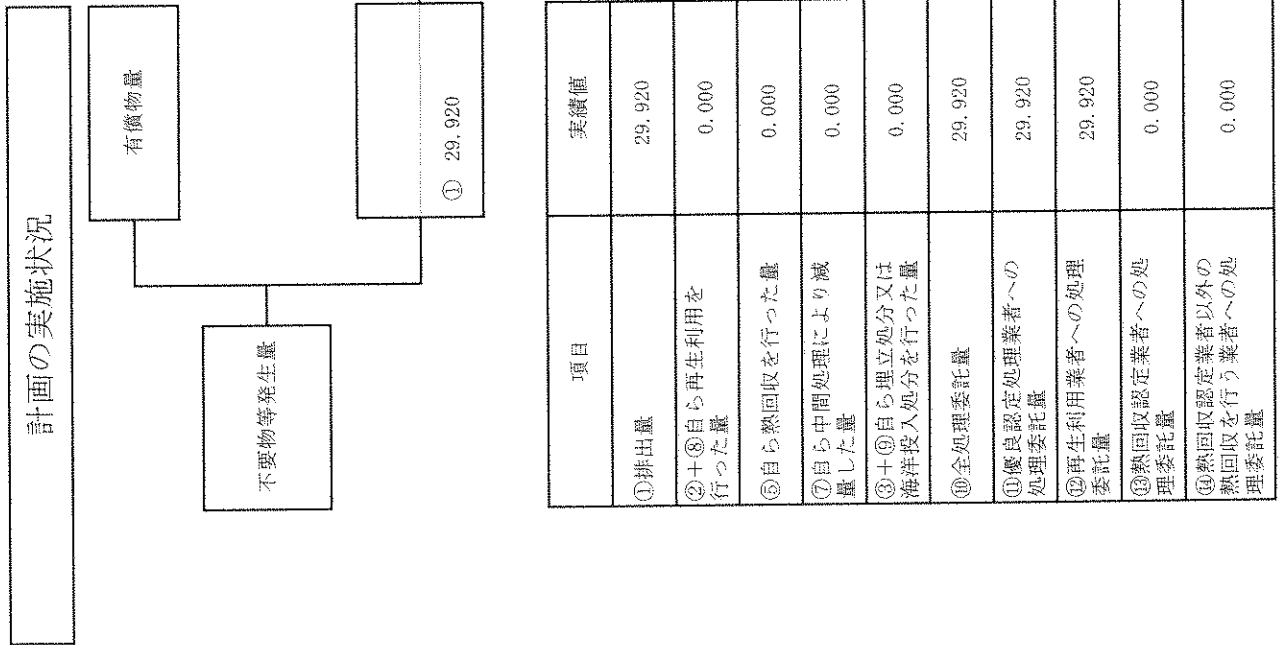


(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



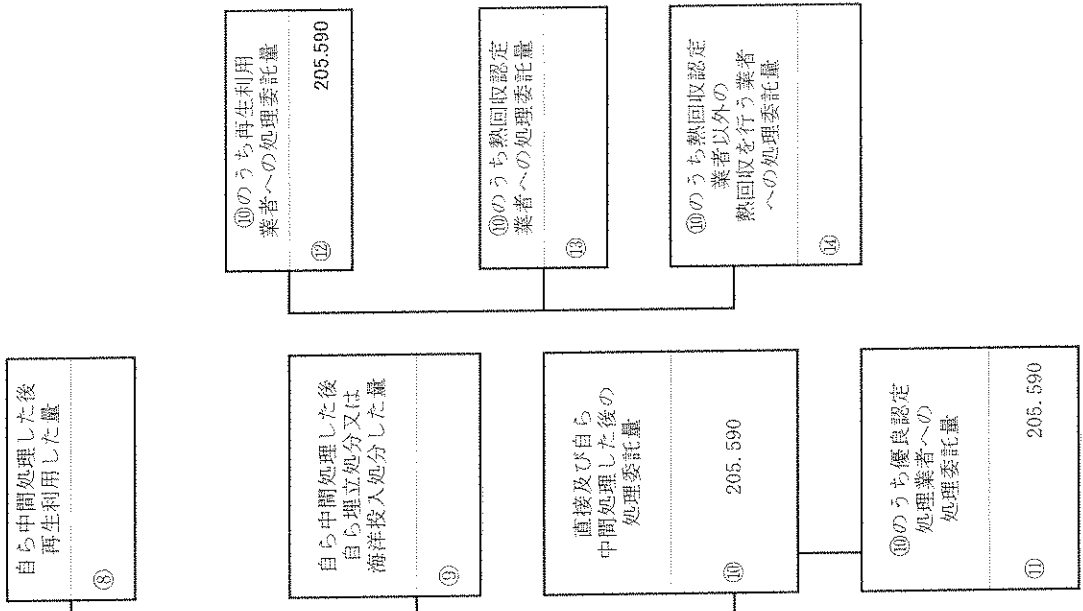
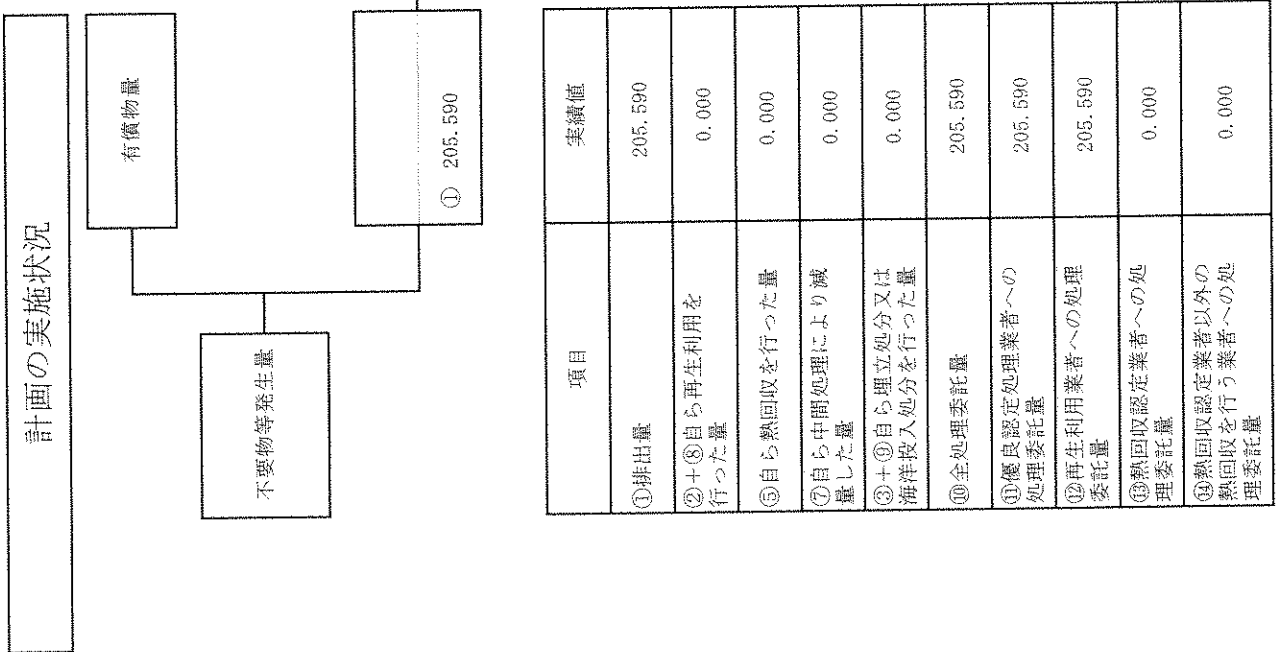
項目	実績値
①排出量	40.760
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	40.760
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.760
⑫再生利用業者への処理委託量	7.810
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(産業廃棄物の種類： がれき類)

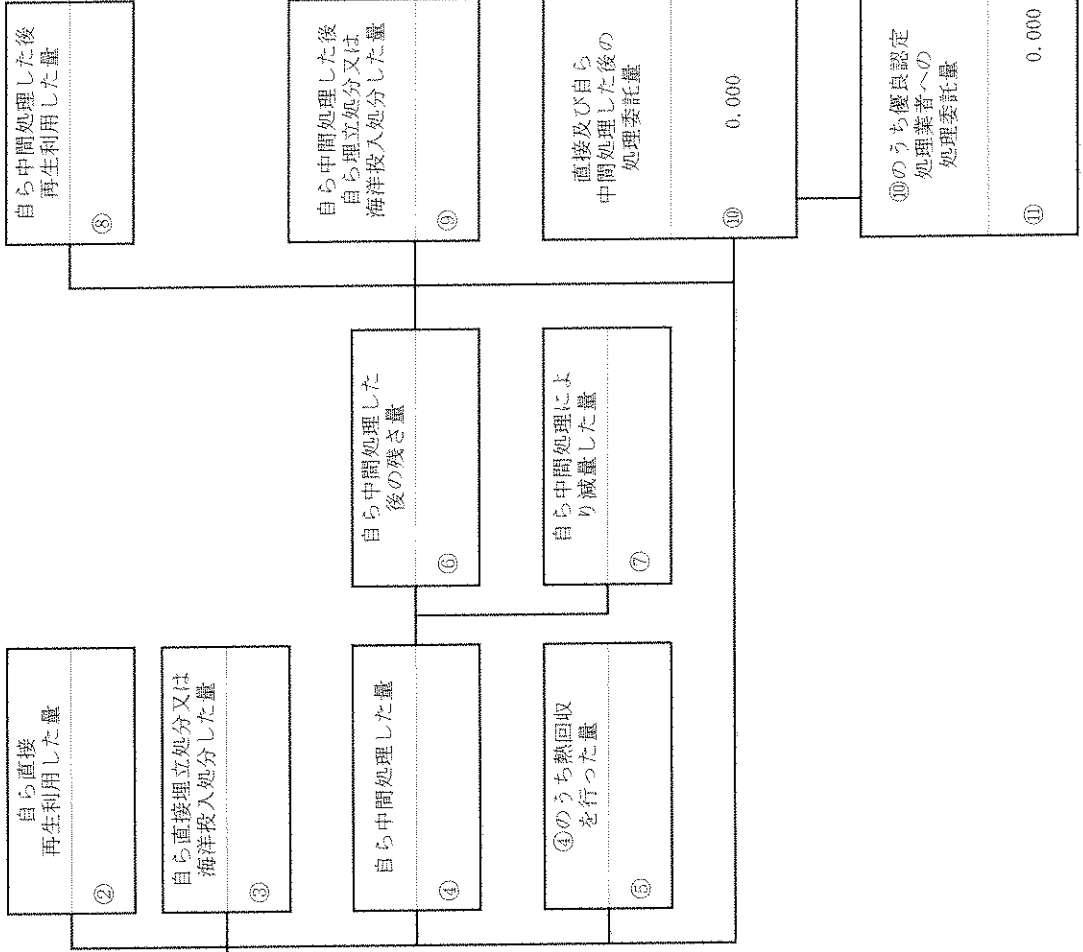
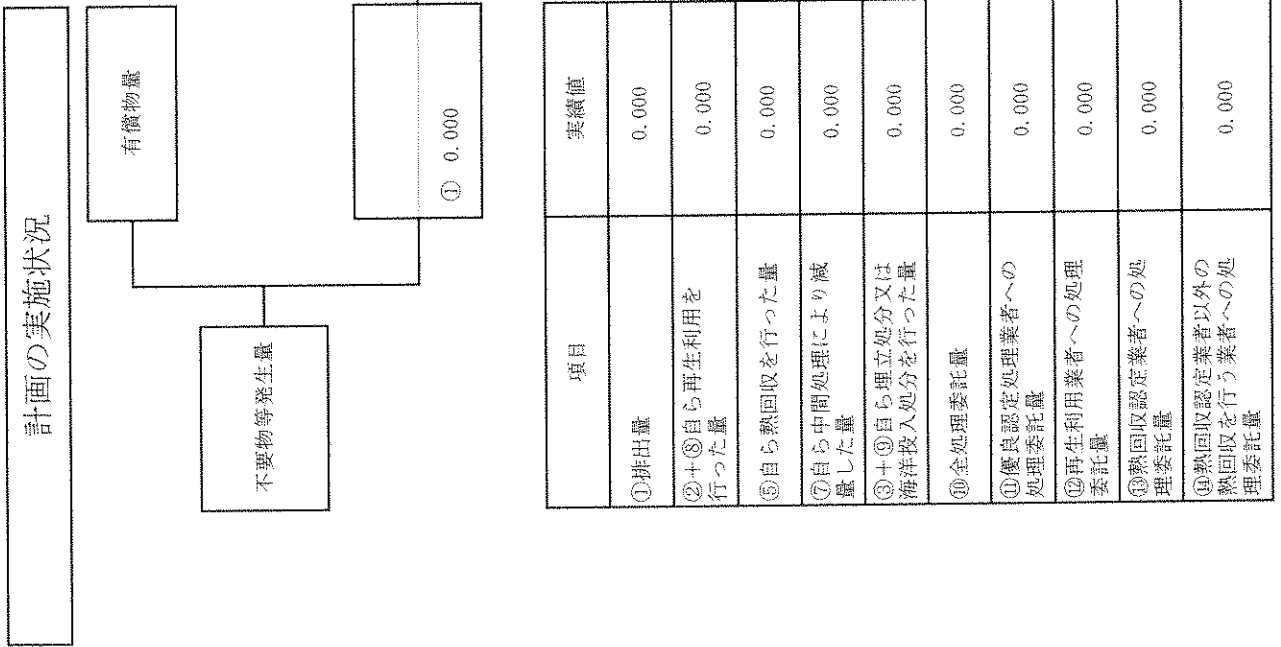


項目	実績値
①排出量	29,920
②+③自ら再生利用を行った量	0,000
⑤自ら熱回収を行った量	0,000
⑦自ら中間処理により減量した量	0,000
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0,000
⑩全処理委託量	29,920
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29,920
⑫再生利用業者への処理委託量	29,920
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0,000
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0,000

(産業廃棄物の種類：コンクリート破片)

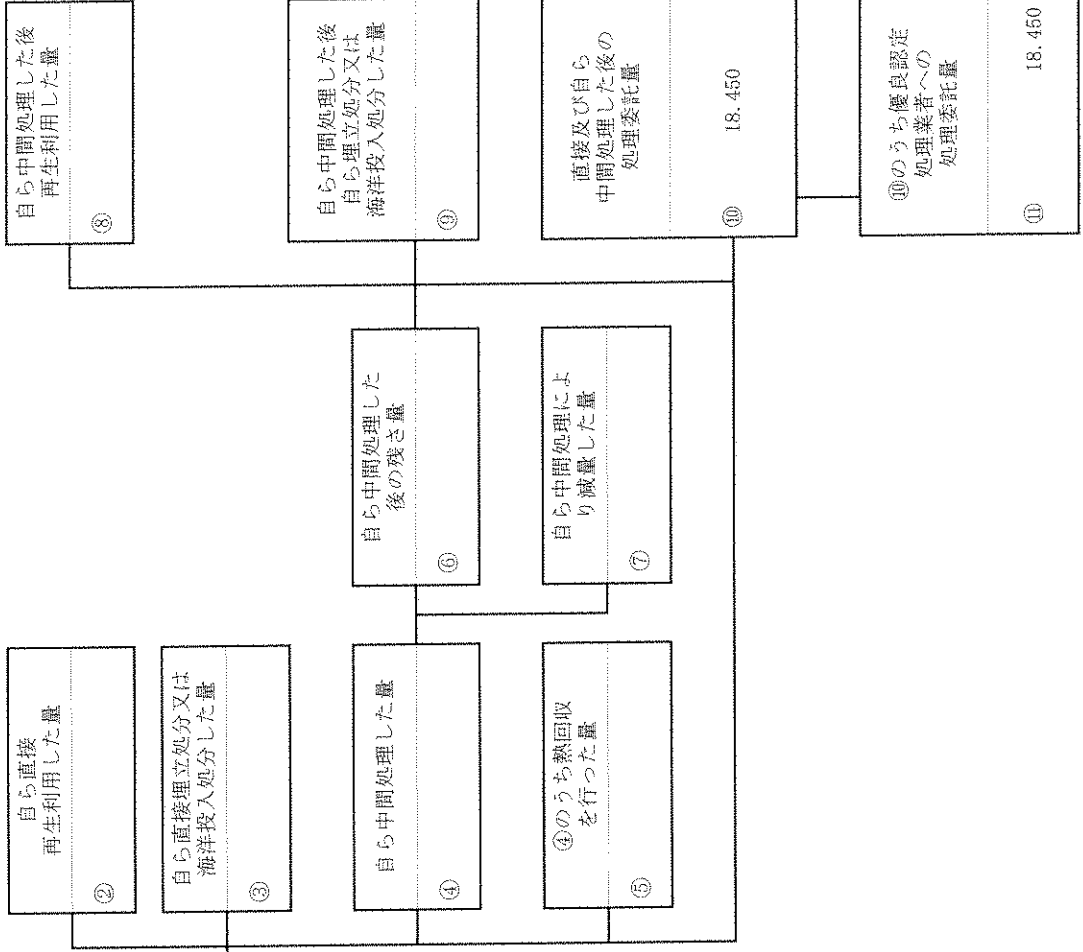
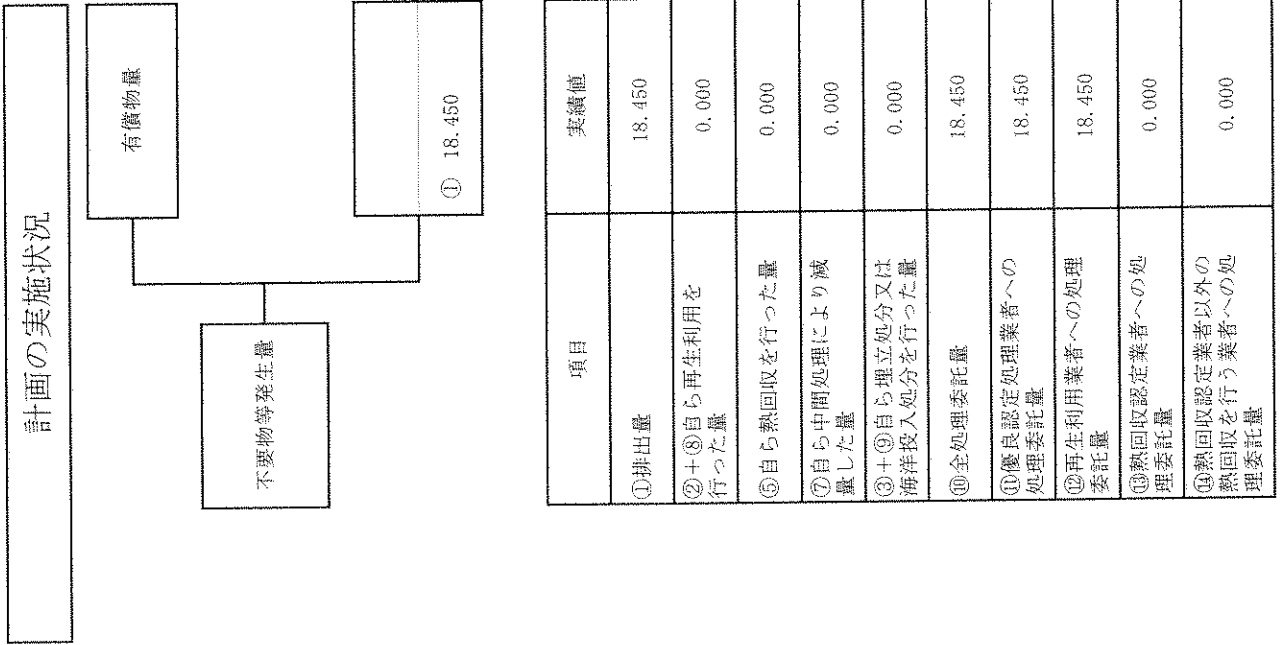


(産業廃棄物の種類： アスファルト・コンクリート破片)

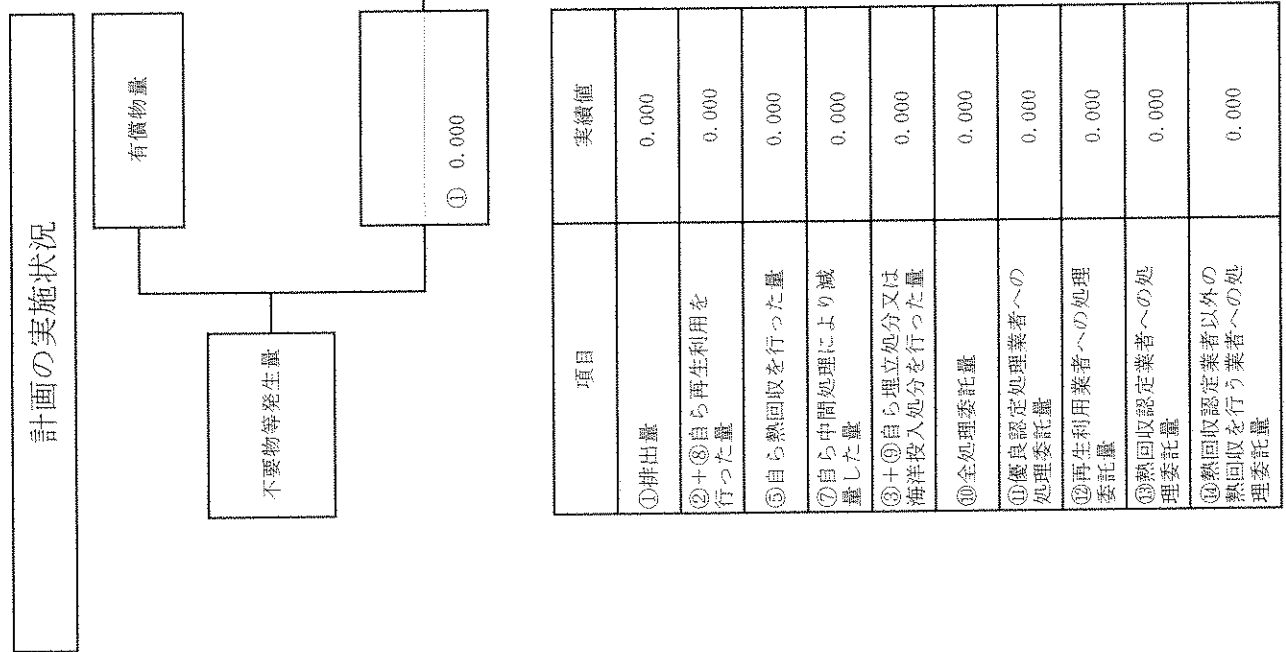


項目	実績値	実績値
①排出量	0.000	0.000
②+③自ら再生利用を行った量	0.000	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000	0.000
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000	0.000
⑧全処理委託量	0.000	0.000
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000
⑪再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000
⑫熱回収認定業者への処理委託量	0.000	0.000
⑬熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.000	0.000

(産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物)

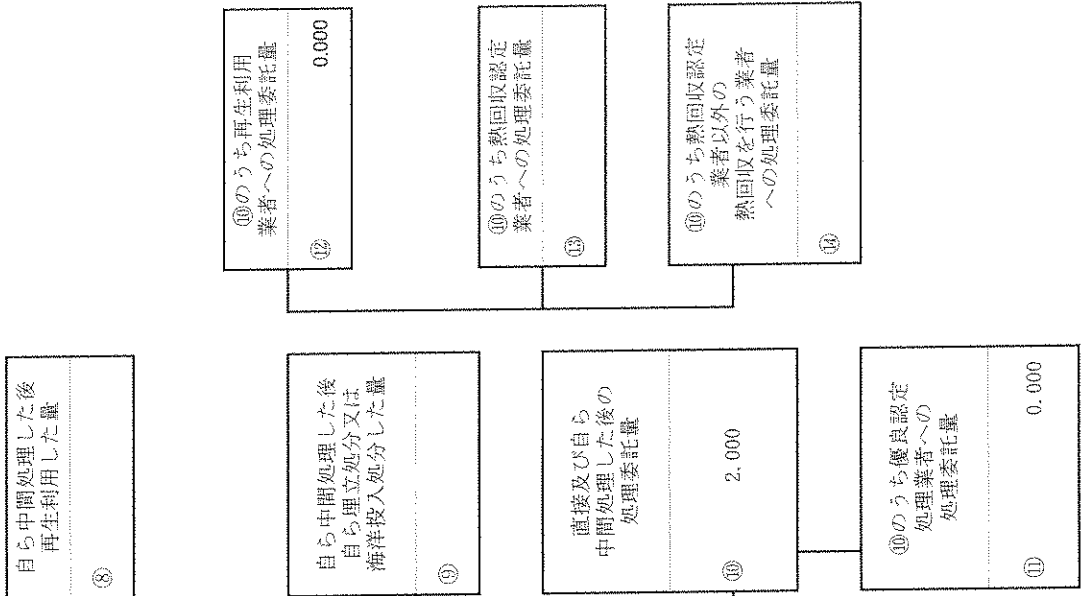
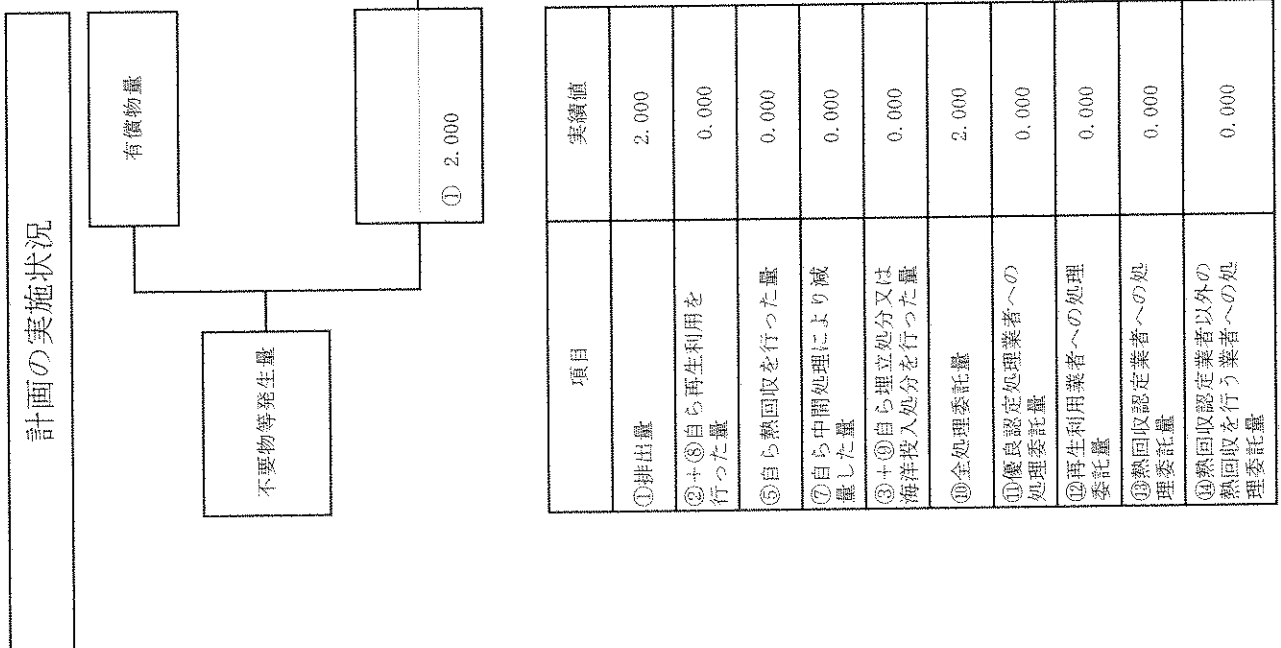


(産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物 (石綿含有))

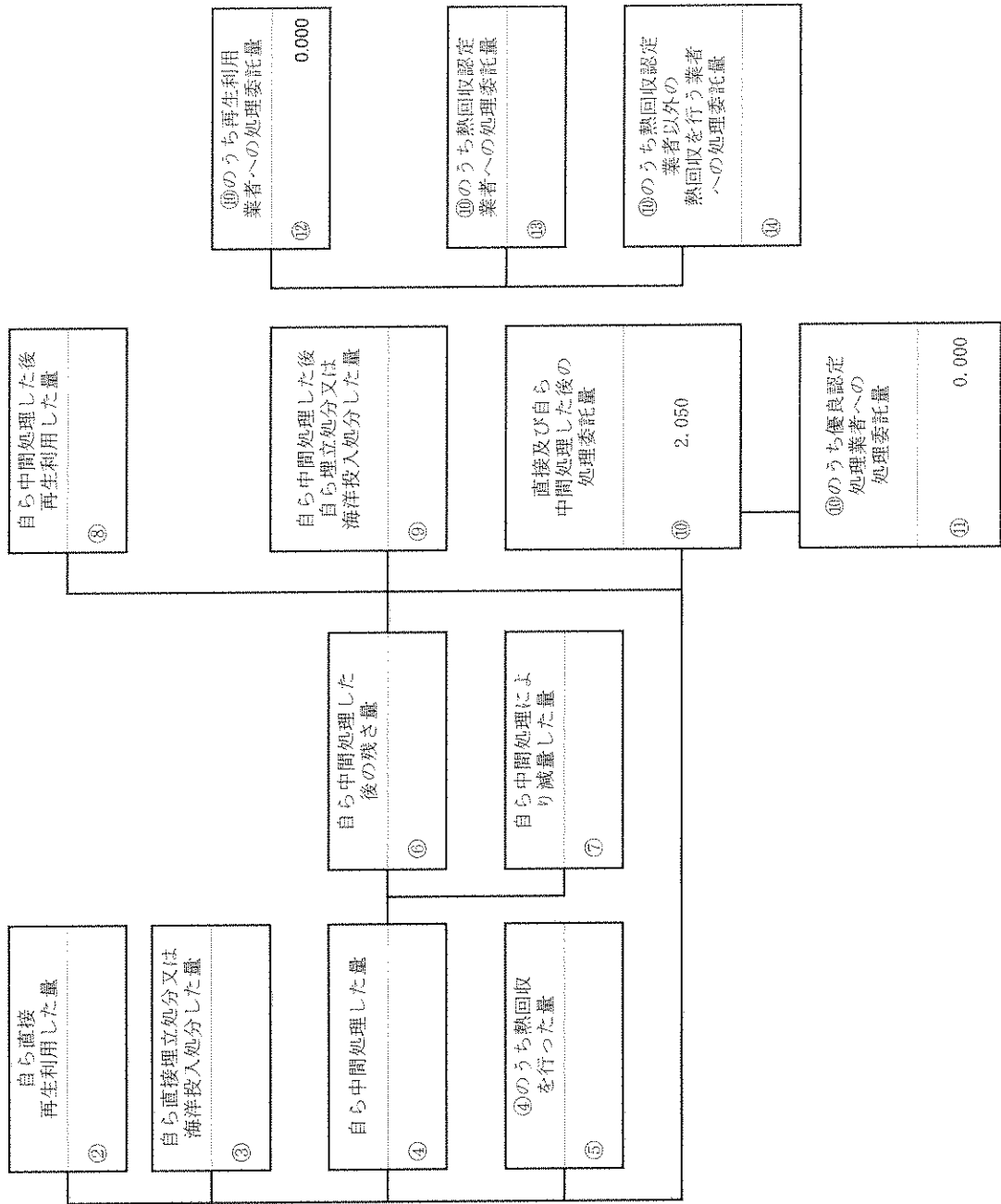
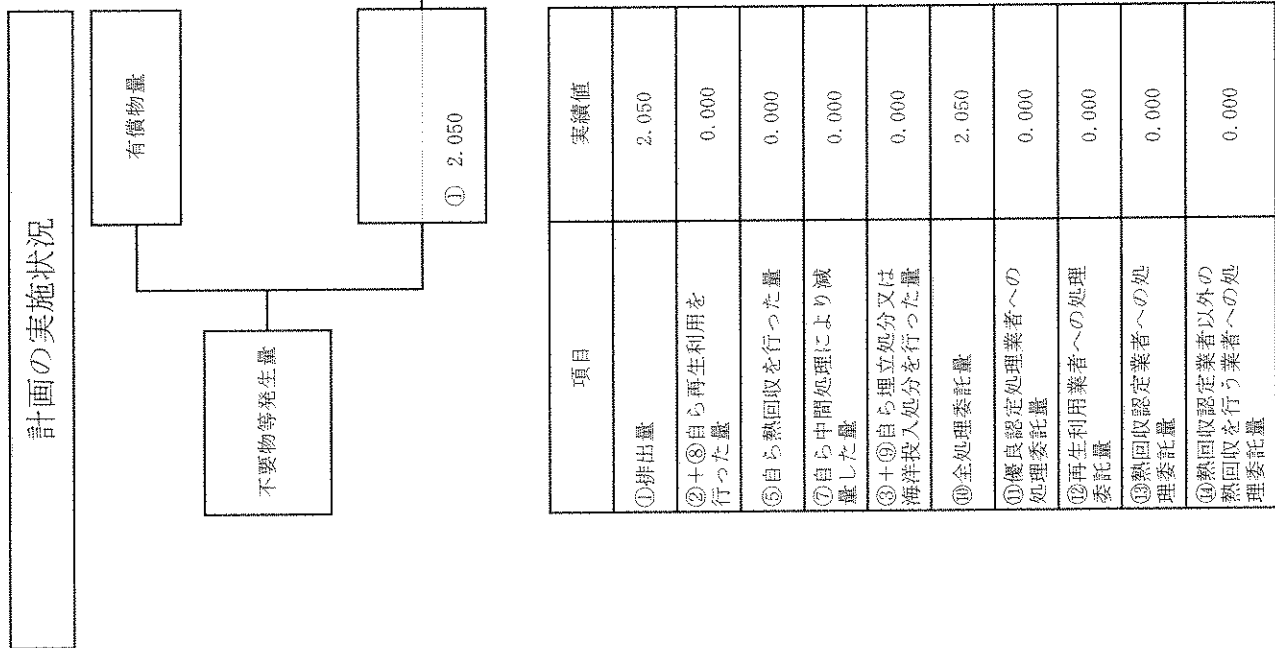


項目	実績値
①排出量	0.000
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑪再生利用業者への処理委託量	0.000
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

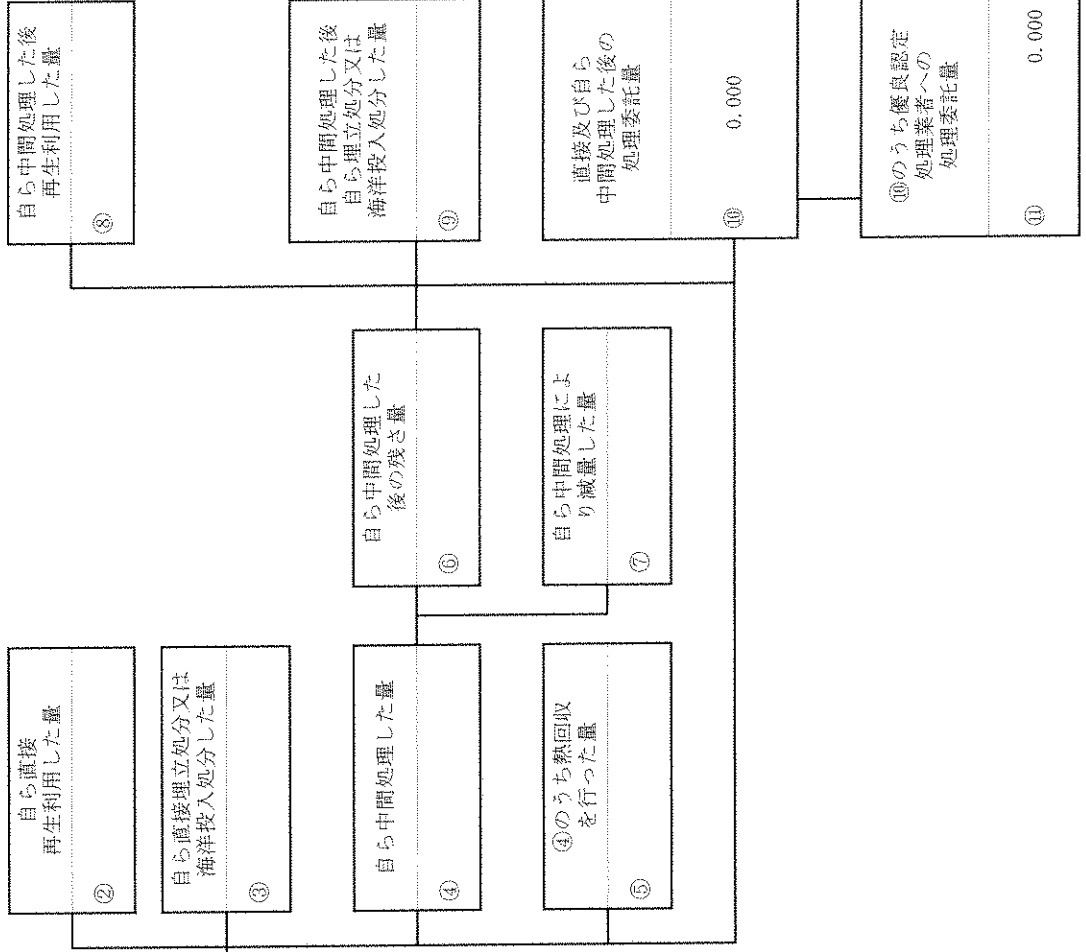
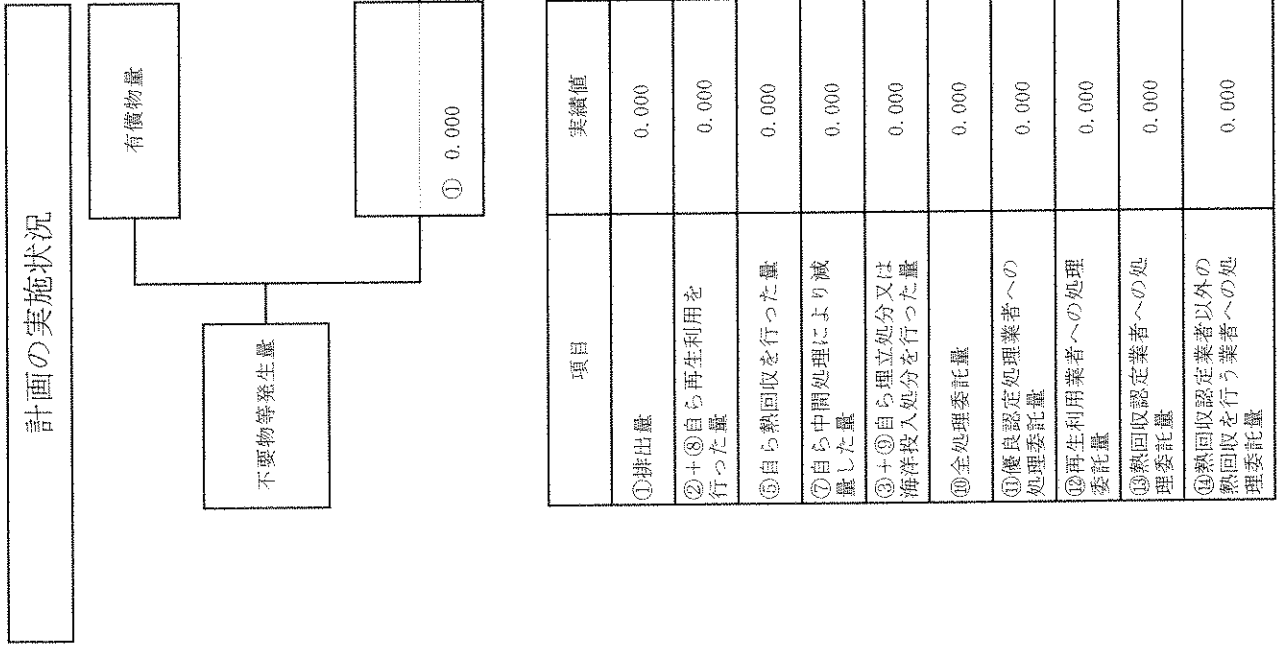
(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有))



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 (石綿含有))



(産業廃棄物の種類： がれき類 (石綿含有))



⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち熱回収業者への処理委託量
⑬ 0.000	⑭ 0.000	⑮ 0.000

項目	実績値
①排出量	0.000
②+③+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④+⑤+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(第3面)

備考

- 1 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
- 2 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記載すること。
- 3 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記載すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら直接再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら直接埋立処分又は海洋投入処分をした量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の残さ量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分をした量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項）への処理委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への処理委託量
- 4 第2面の左下の表には、項目ごとに産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの産業廃棄物の実績値を記載すること。
- 5 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。